

事業所名

放課後クラブ にじいろ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

7年

3月

15日

法人（事業所）理念		法人理念『じりつ』 個々の持つ力を引き出し、専門職（精神科医師・作業療法士・臨床心理士・言語聴覚士・精神保健福祉士等）のアドバイスを基に、こども達、ひとりひとりに適したサービスを提供する事で『精神的自立』や『生活機能的自立』、また将来的には『経済的な自立』の一助となるような施設を目指しています。		
支援方針		「みんなちがって みんないい」 お子様それぞれの色（個性）を尊重しながら、その色がより輝く事が出来るように、療育を通してお子様の心の成長を支えていきます。経験することの楽しさを感じ、自立に向けての生活スキルの習得や精神的成長を促していきます。		
営業時間		平日：10時～18時30分 学校休業日：8時30分～17時 （日祝日・お盆・年末年始休み）	送迎実施の有無 あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムの定着：利用日のスケジュールの管理や生活リズムの確認を利用者と保護者に向けて行う。必要時には、提案なども行う。 ○健康管理：検温や身体チェック、睡眠時間・服薬確認などを行い、状況の把握と病気の予防を保護者と連携をとり行う。 ○ライフスキルトレーニング：手洗いやうがい、整容（身だしなみや歯磨き、爪切りなど）や食事の際のマナー、排泄のマナーなど、生活に必要なスキルの定着を促す。 ○安全教育：交通安全教育や防災訓練を通じて、安全への意識をつけるとともに、SSTや実践を行う。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○身体機能向上トレーニング：体幹を鍛え、姿勢の保持や心地良い身体の使い方を習得する。 ○見る力を養う：ビジョントレーニングを取り入れ、注視する力や眼の筋力を鍛え、広い範囲で見る事が出来る力を伸ばす。 ○創作活動や調理実習：手や指先を使い創作を行う。必要な器具（包丁・ハサミや糊など）の適した使用方法を習得する。 ○身体を動かす活動：体育館やアスレチックなどで、遊びやゲーム、リトミックを通して身体を使い楽しい体験が出来る。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援：宿題や個別課題などの環境の提供を行い、必要時には気持ちの向け方や導きを行う。宿題をやり遂げることの達成感や定着を図る。 ○社会見学・屋外活動：団体行動や公共の場所でのルールなどを理解し行動する。公共の機関を使う事で、経験が増え自立した生活が送れる。 ○買物実習：お金に対する知識を持つ。価値を理解し、実習などを通して使い方を学ぶ。 ○環境整備：自分の持ち物の管理や整理の方法を習得する事が出来、過ごしやすい環境を作る事が出来る。 ○自己管理や調整：時間を見て行動する。自宅時間や時間の配分など、時刻を読む、時間の感覚を養う。 ○集中する支援・持続できる支援：話している人や物事（スケジュール）などを集中して観る力や持続して観る力を養う。 ○意識の向上：新しい情報や経験をjする事で、興味を持つ事が出来る。自己の意識によって探求意欲が芽生え、高まるように導く。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○発語発達支援：適した姿勢や、身体（口の開け方・腹筋など）の使い方jで発声や発語がスムーズに行える訓練。 ○言語発達支援：発音の訓練や言葉の意味の理解、語彙力を高める事が出来るように、絵やカード、ジェスチャーなどを用いて適した言葉の使い方を学ぶ。 ○コミュニケーション能力の向上：挨拶やお礼の言葉などj日常生活に必要な言葉の表出がスムーズにいくように、場面設定（ロールプレイなど）で経験をjする。 ○協同の作業：グループやチームで目標を設定し、相手の話を聞く、自分の気持ちを話すなどの意見交換などが出来る訓練。 ○振り返り：日々の振り返りの中で、気持ちの表出を促し、適した言葉の選択やスムーズなやり取りが行えるための導きを行う。うまく相手に伝わる事で自信がつき自分からの発信の機会を増やす。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○関わりの訓練：あいさつや自己紹介、応答、また感謝や謝罪など場面にあわせた表現の方法を訓練し、人との関わりかたをj経験する。 ○協力する活動：お友達との仲間の輪で遊ぶ、協力してゲームに参加する、協力して創作を行うなど、協調性を育む。また、協同する事で成功した体験をj積む。 ○コミュニケーションのスキルの習得：お友達やスタッフとの関わりを通して、やり取りする事の楽しさや、言葉の使い方をj考え学ぶ。 ○他事業所などとの交流：、プログラム活動を通して、合同で行う事の目的や楽しさなどをj経験し、交流の意義がj体感出来る。 ○公共の場の訓練：公共の場での約束事をj理解し、適した行動や関わり方をj学ぶ。 		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡帳で利用日の様子をj記入。送迎などで利用時の様子の報告を行う。 ○定期的に面談を行い、お子様の状況（成長や課題）などをj共有する。 ○相談の対応：保護者の悩みや相談をjうけ、必要時はj助言を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関との情報共有（学校や療育機関など）やj連携。 ○生活スキルの向上として、買い物実習でj金銭管理を行う。調理実習で家事（調理）のj経験をj積む。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の社会資源（公共の施設など）をj活用 ○地域の自立支援協議会の子供部会に参加し、j情報共有やj連携を図る。 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の研修：入職時や定期的なj研修を行う。 ○情報の共有：日々の支援についてのj報告やj事例検討など。 ○相談：不安や悩みなどのj相談できるj体制作り ○会議：定期的なj会議の実施（フィードバックやj評価）

主な行事等

- 保護者向け：研修や交流会・見学会など
- 季節の行事：歓迎会や誕生会・夏のお楽しみ会・サマーデイキャンプ・クリスマス会など
- 他事業所との合同プログラム活動：スポーツ・ゲーム大会・クリスマス会など